

うみ ご み

海護美水族館の実証実験 を行います。

本校生5名が、「しまのみらいプロジェクト」において、瀬戸内海の海洋保全活動を行っています。この活動の一環で、地域住民の瀬戸内海への保全意識を醸成するとともに、海洋ゴミの回収を促進することを目的に、海護美水族館を企画しています。今回、この水族館の実現に向け、地域の方々の協力を得て、小規模で実証実験を行います。

- 1 日 時 令和7年6月15日（日） 10時～15時
10時～12時 午前の部
13時～15時 午後の部
- 2 場 所 小豆島ふるさと村（小豆郡小豆島町室生2084-1）
- 3 内 容 瀬戸内海に生息している魚が入った水槽を、瀬戸内海で拾った海ゴミで装飾した展示を行います。

島高生が企画する海洋保全を目的としたゴミアート×水族館
スモールサイズでお試し実施



うみごみすいぞくかん



ゴミアートと
瀬戸内海の生物が
同時に楽しめる！

6/15(日)@ふるさと村

午前の部 10:00～12:00

午後の部 13:00～15:00

SAVE OUR SEAS

この取り組みは、香川県立小豆島中央高校「しまのみらいプロジェクト」による瀬戸内海の海洋保全活動の一環で行っています。

国内

陸からの流入
66%

海域での発生
27%

瀬戸内海
海洋ゴミ
年間総流入量
4500t

現在、瀬戸内海には約4500tの海ゴミが流入していると言われています。そのうち66%は陸からの流入、27%が海上での発生で、これらは国内からの発生です。さらに、大型の海ゴミは処理費用が高額であるという理由から十分な回収ができていません。そこで、それらを解決するために次のことを考えました。

地域住民の瀬戸内海への
保全意識を醸成するため

海洋ゴミの回収率を上げるため

住民と瀬戸内海の
新たな接点を創出



大型の海ゴミの
処理費用を捻出

そうして企画したのが海護美水族館です。ゴミアートと水族館を掛け合わせたこの施設によって、瀬戸内海の魅力と保全の重要性を島中に発信することが目的です。



一実現に向けた実証実験の実施



みなさんの声を踏まえて、海護美水族館を実現させたいと考えています。ぜひ足を運んでいただき、みなさんの声を聞かせてください！